

ライブサポート 開放ポート資料

2007 / 1 / 29

AOSテクノロジーズ(株)

開放ポートのパターン

ビジターおよびオペレータ側の開放ポートは、下記のパターンがあります

ビジター側

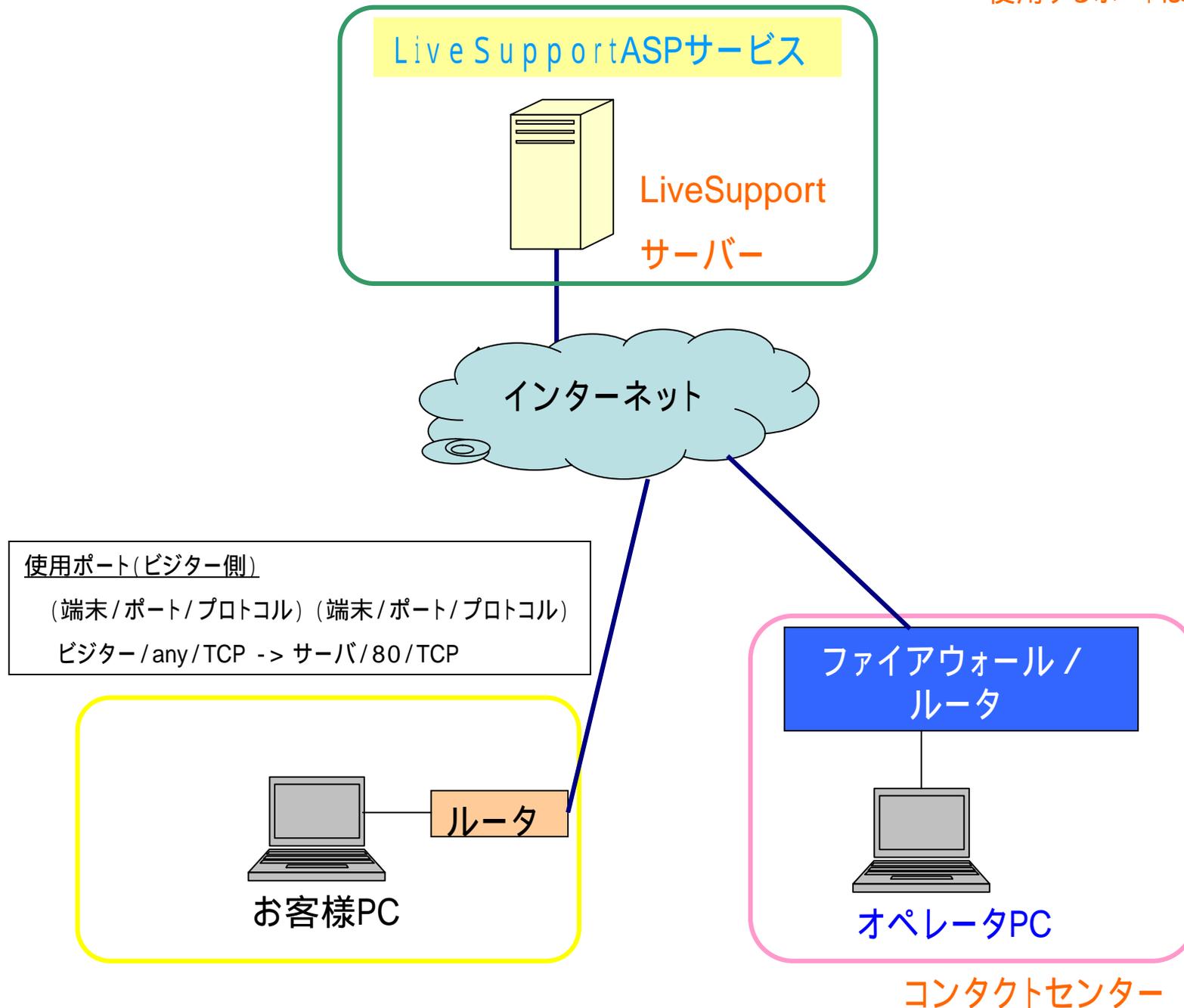
	HTTPプロトコル
暗号化なし	パターン
暗号化あり(S S L)	パターン

オペレータ側

	MQプロトコル	HTTPプロトコル
暗号化なし	パターン	パターン
暗号化あり(S S L)	パターン	パターン

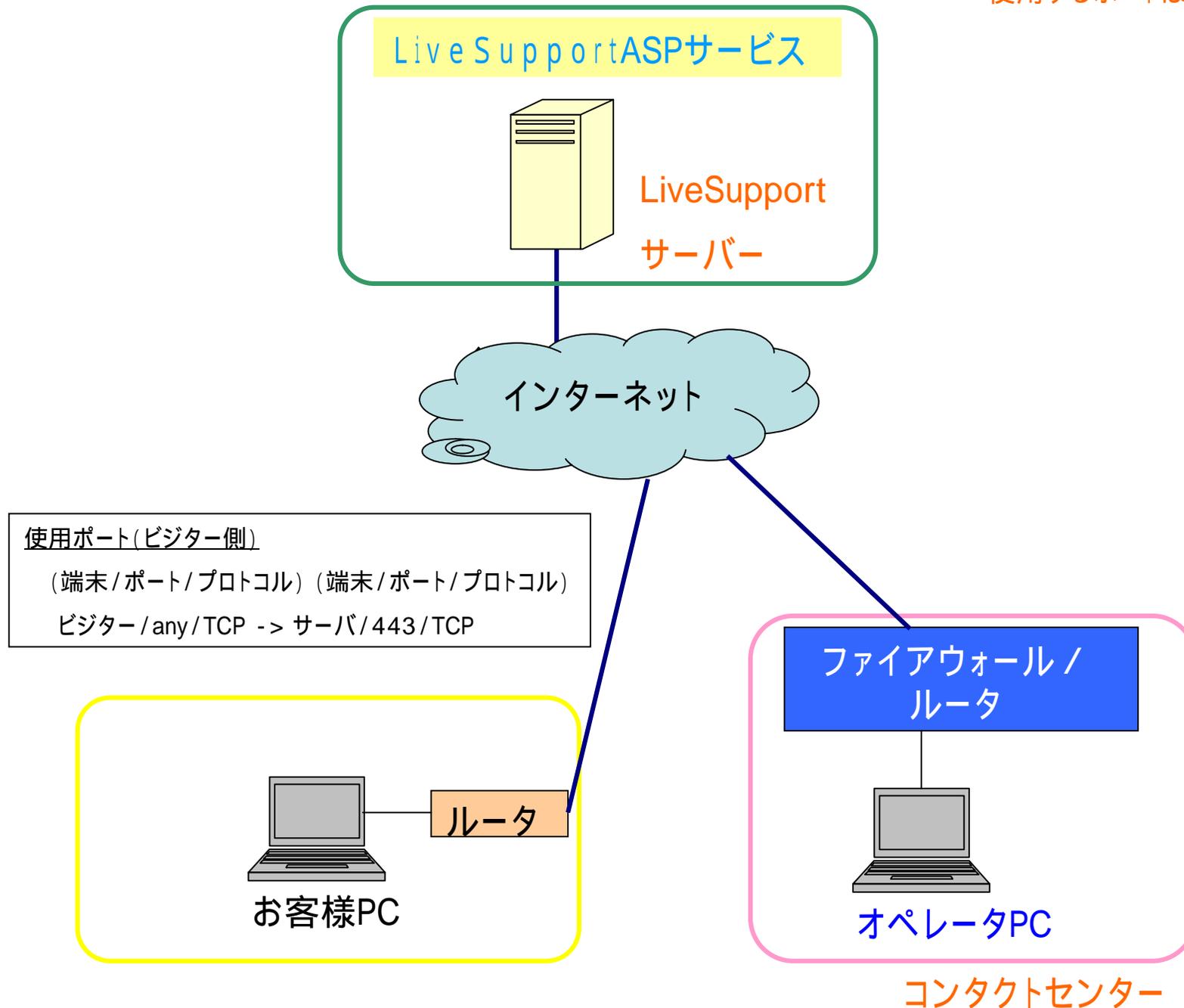
ビジター 暗号化なしの場合

* 電話機能 / ヘルプデスク機能で使用するポートは含みません。

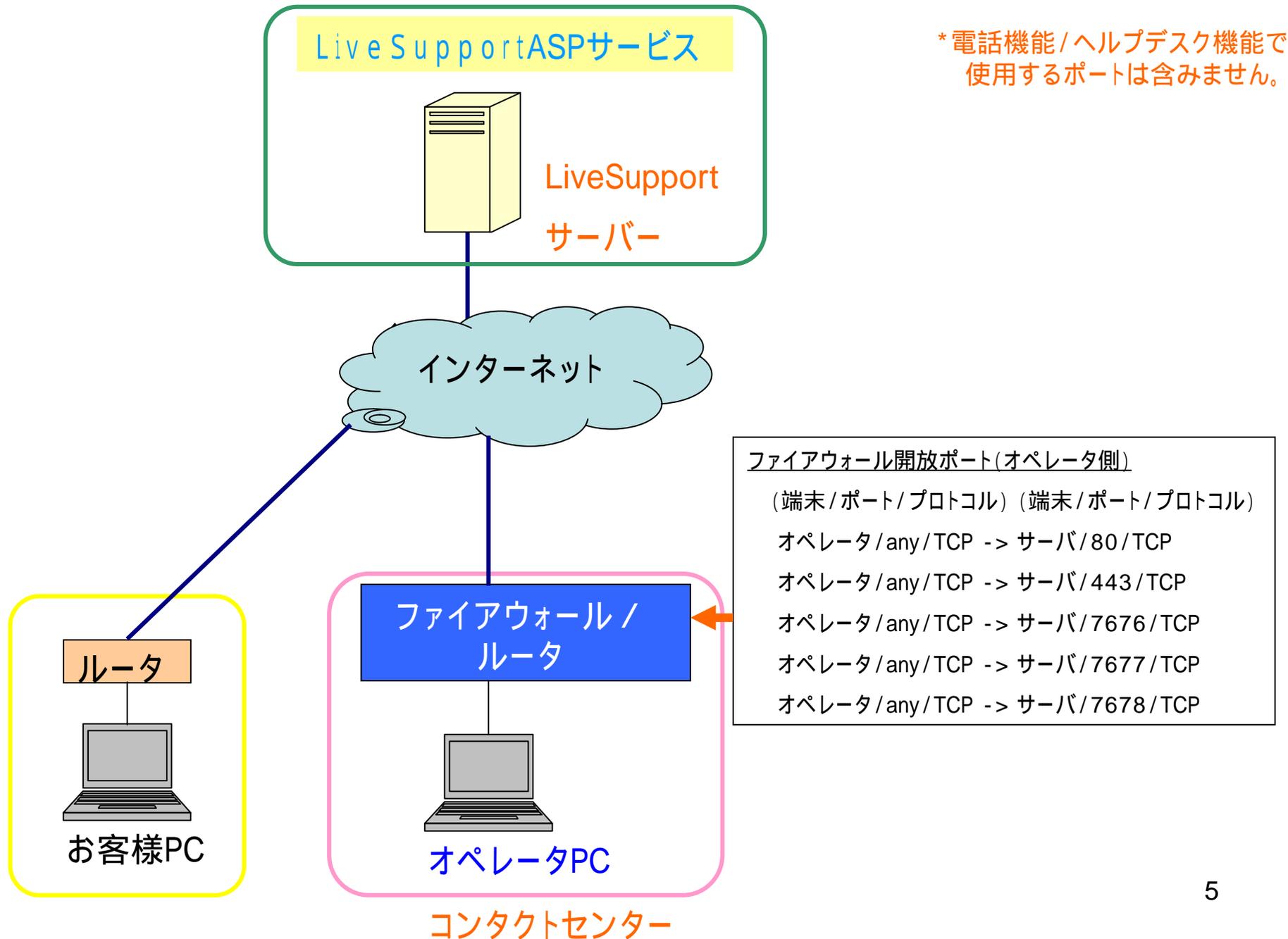


ビジター 暗号化あり(SSL対応)の場合

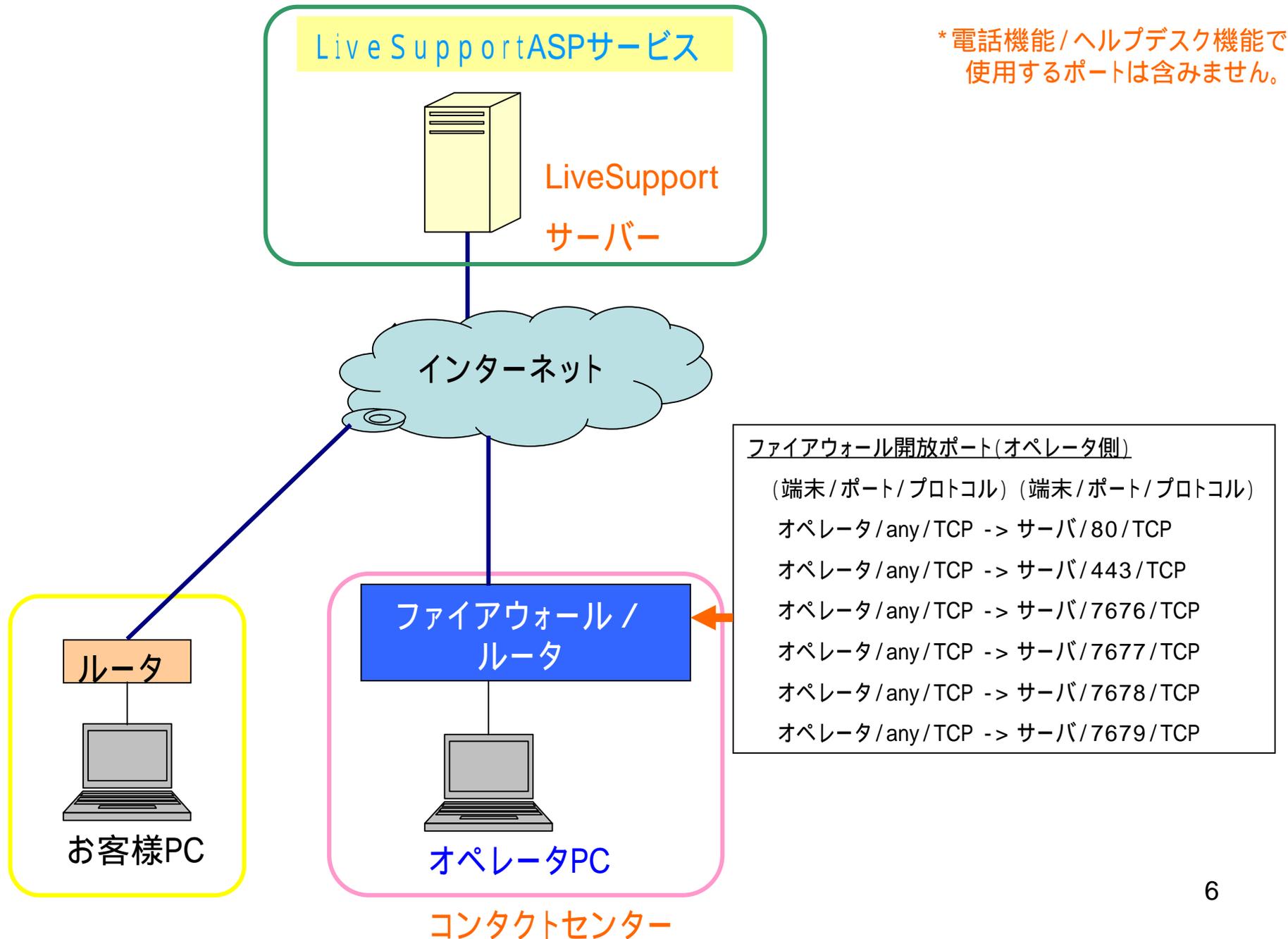
* 電話機能/ヘルプデスク機能で使用するポートは含みません。



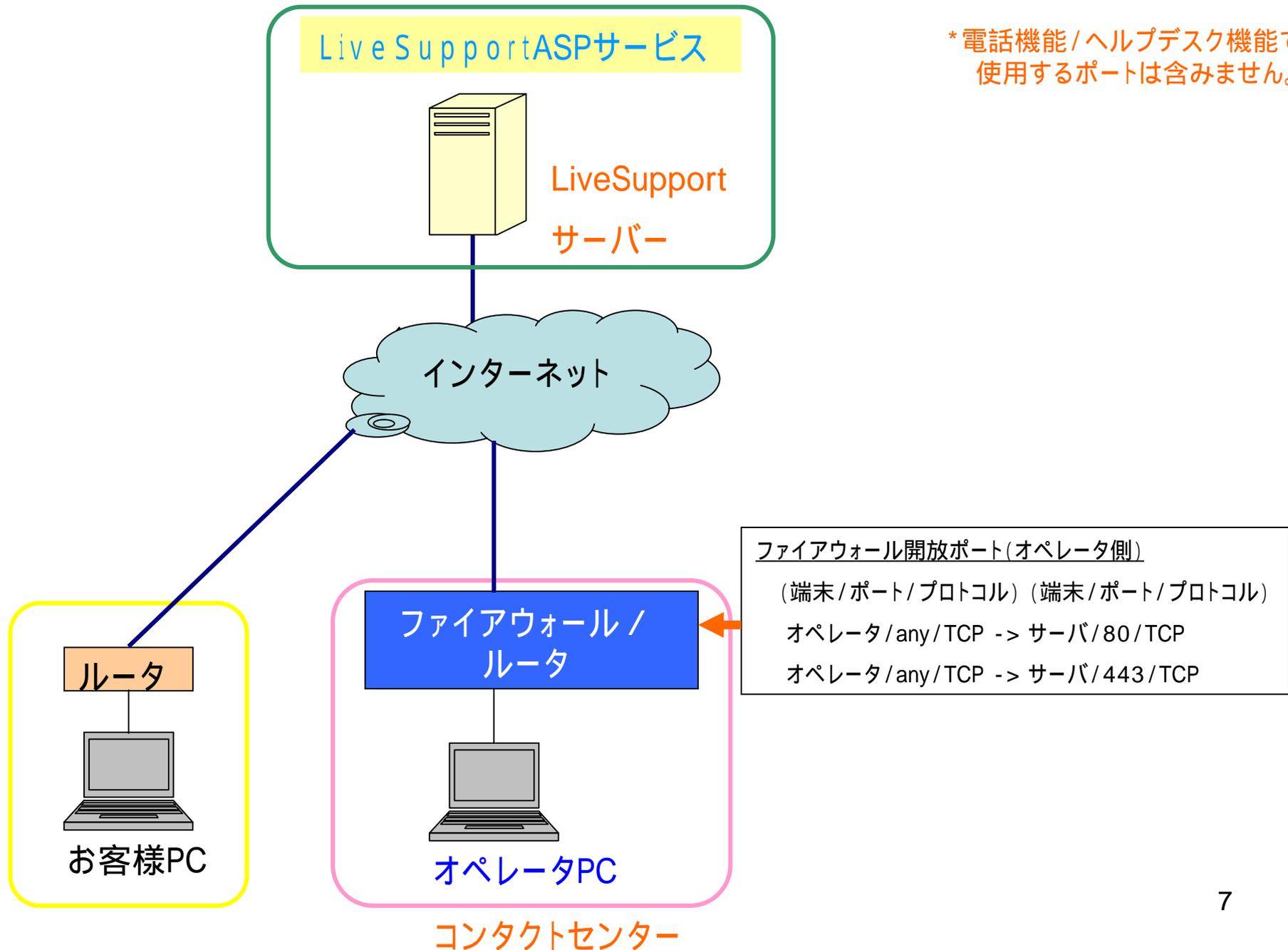
オペレータ MQプロトコル(デフォルト) / 暗号化なしの場合



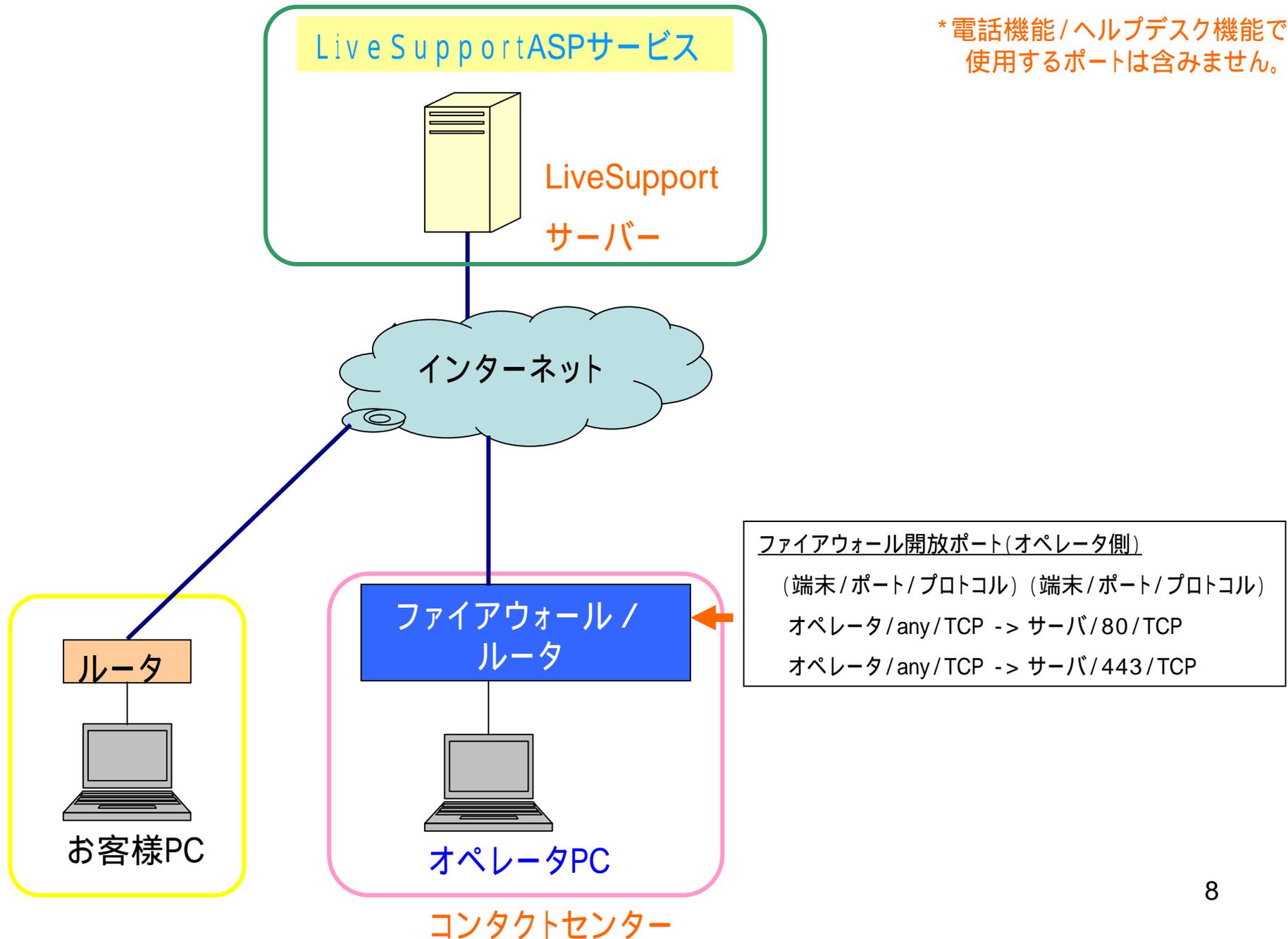
オペレータ MQプロトコル(デフォルト) / 暗号化あり(SSL対応)の場合



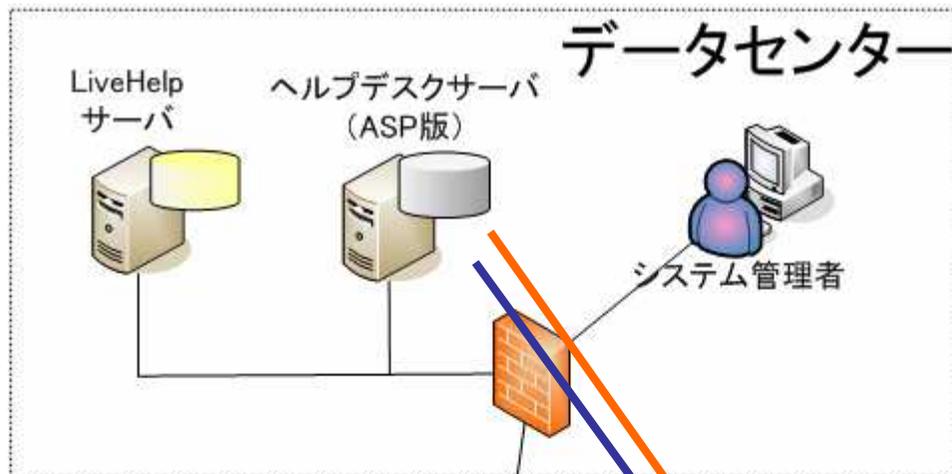
オペレータ HTTPプロトコル(デフォルト) / 暗号化なしの場合



オペレータ HTTPプロトコル(デフォルト) / 暗号化あり(SSL対応)の場合

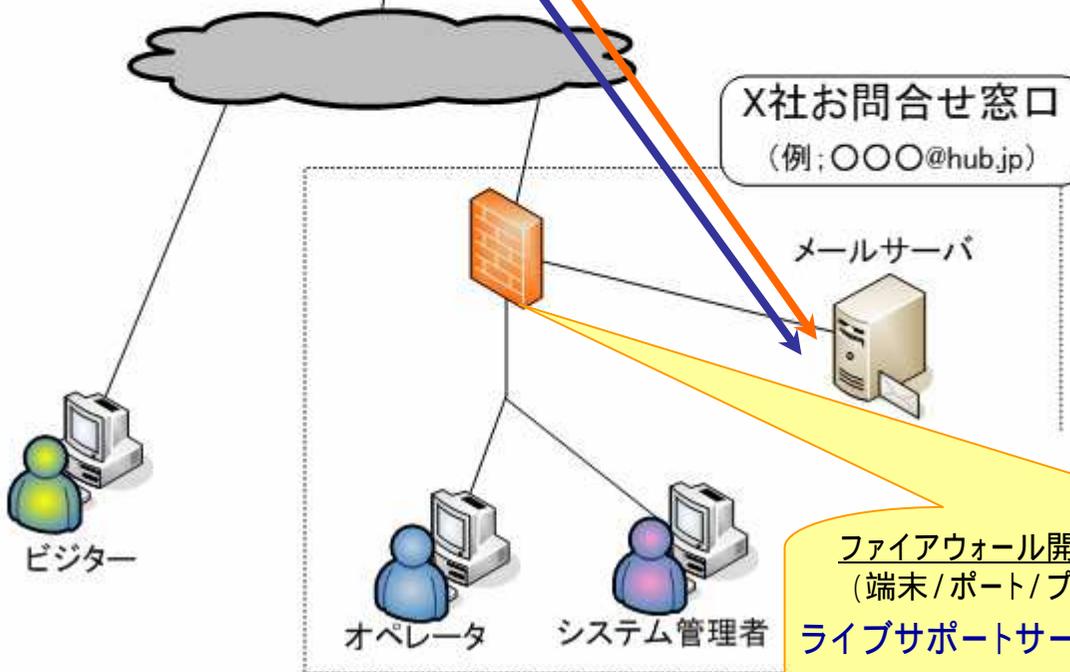


ヘルプデスク機能を使用する場合



1、お問合せ窓口1つに対し、代表メールアドレスを1つ持つ必要があります。

2、LiveSupportサーバから、お客様のメールサーバーに、SMTP/POPにてアクセスをします。
(ポートの開放が必要です)



ファイアウォール開放ポート(オペレータ側)

(端末/ポート/プロトコル)

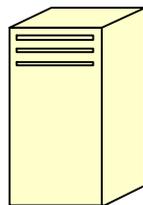
(端末/ポート/プロトコル)

ライブサポートサーバ/25/smtp -> メールサーバ/25/smtp

ライブサポートサーバ/110/pop -> メールサーバ/110/pop

電話機能を使用する場合

LiveSupportASPサービス



LiveSupport
サーバー

使用ポート(ビジター側)

(端末/ポート/プロトコル) (端末/ポート/プロトコル)

電話機能で使用

ビジター/any/UDP -> サーバ/7999/UDP

ビジター/any/TCP -> サーバ/8000/TCP

ビジター/any/TCP -> サーバ/8002/TCP

ビジター/any/TCP -> サーバ/8003/TCP

ビジター/any/TCP -> サーバ/8004/TCP

ビジター/any/TCP -> サーバ/4010/TCP

~

ビジター/any/TCP -> オペレータ/4260/TCP

ファイアウォール開放ポート(オペレータ側)

(端末/ポート/プロトコル) (端末/ポート/プロトコル)

電話機能で使用

サーバ/any/TCP -> オペレータ/1720/TCP

サーバ/any/TCP -> オペレータ/6000/TCP

サーバ/any/TCP -> オペレータ/6001/TCP

*電話機個数が増えるごとに、下記のポートを追加

6002,6003/TCP

6004,6005/TCP

6006,6007/TCP

*UDPで通信する場合は、下記のポートを追加

サーバ/any/UDP -> オペレータ/1719/UDP

インターネット

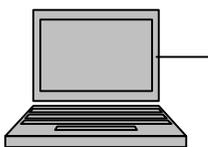
ファイアウォール/
ルータ



オペレータPC

VoIPゲートウェイ

コンタクトセンター



お客様PC

ルータ